

No. 12

1988

4月1日発行

萩の郷

発 行 者
下 市 田 区
発行責任者
下 井 武 平
印 刷
キタバヤシ印刷

上段は工事前の状
況を牛牧側から、
下段は工事後の現
状を下方から撮影
したもの



下市田牛牧坂地区では六十二年度の土地改良総合整備事業として牛牧坂百田地籍の区画整理（二・四ヘクタール）農道工事（四八七メートル、幅員四・五メートル）が昨年十一月から進められ今年三月までにはほぼ完成した。これにより百田といわれた細かい傾斜地の農地が見違えるほどの適正な耕地に生れ変わり、牛牧から下市田へ通ずる道路も開通整備され将来へ向っての、この地区の環境が大きく変貌した。

区の情勢について

区長 下井武平

一、裁判については昨年十二月三日、本年になって一月十二日、三月十一日の三回開廷され三回共西沢先生一人出廷されましたが、当方の提出証拠書類に対し相手方も毎回反証を提出し未だ結審に至らず、次回は四月二十二日開廷が予定されています。

二、工業団地については昨年末に三社の進出が決まり、これにて全面積が満杯となりました。県森連は別として十六社であります。

三、林務関係では三月六日より本年度の山作業が始まりました。皆様の御協力をお願いします。

四、土木関係では竜西線、一の一号線、一三線の工事が続行され、新たに国道一五三号線の歩道工事が始まりました。

五、水利関係では唐沢川のバイパス（塩沢先生宅北側付近）工事が関係地権者の御理解に依り実施される事になりました。又町より上水道取水量増の要望がありましたので今後水利委員を中心に町と話し合いを進めてまいります。

六、厚生関係については一般廃棄物蒐集に伴なう分別につき常会長さん、社会部長さん等の御協力に依り大変成果を挙げ得ました。厚く御礼申し上げますと共に、今後も宜しくお願い申し上げます。

昭和63年度 下市田区一般会計歳入歳出予算

1. 収入の部

2. 支出の部

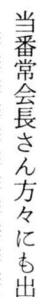
昭和63年3月28日決議

区 分	本年度 予算額	前年度 予算額	比較	説 明	区 分	本年度 予算額	前年度 予算額	比較	説 明
1. 区 費	12,240	9,000	3,240	個人・法人区費・道路改良基金	1. 総 務 費	11,219	10,839	380	
2. 繰 入 金	8,021	8,700	- 679	地域振興基金利子	2. 厚 生 費	587	587	0	
3. 町支出金	3,800	3,800	0	各種事業補助金その他	3. 林 務 費	1,490	1,490	0	
4. 財産収入	1,000	1,000	0	貸地料その他	4. 土 木 費	7,060	6,920	140	
5. 寄 付 金	2,600	2,600	0	各種事業地元負担金その他	5. 水 利 費	4,005	2,405	1,600	
6. 繰 越 金	1,000	500	500	前年度繰越金	6. 消 防 費	1,478	978	500	
7. 諸 収 入	1,600	1,600	0	山作業不足その他	7. 公民館費	2,666	2,570	96	別途会計
合 計	30,261	27,200	3,061		8. 予 備 費	1,756	1,411	345	
萩山神社 会 計	2,643	2,285	358		合 計	30,261	27,200	3,061	
					萩山神社 会 計	2,643	2,285	358	

昭和63年度 下市田公民館年間行事計画

体 育 部 (区 ・ 町)		教養・視聴覚部 (区 ・ 町)		コミュニティ (体育関係各部落)		コミュニティ・その他 (各部落他)	
月日曜	行 事 内 容	月日曜	行 事 内 容	月日曜	行 事 内 容	月日曜	行 事 内 容
6/19日	区ミニバレー球技(ドッチボール)大会 (町民体育館)	6/12日	教養講演会 (下市田公民館)	4/10日	2区区民ミニバレー大会 (2区広場)	4/14木	町有線 うたくらべ大会 (福祉センター)
7/17日	町40歳以上ソフトボール大会 町ママサンバレーボール大会 (町民グラウンド、 町体育館他)	7/30土	萩の里まつり (下市田保育園)	4/24日	1区ソフトボール大会 (町民グラウンド)		
8/16火	町盆野球大会 (町民グラウンド)	7/31日	町夏休み子供映画会 (町公民館)	5/15日	6区ソフトボール大会 (町民グラウンド)		
10/10月	町体協スポーツ祭	9/25日	区カラオケ大会 (下市田公民館)	8/28日	4区スポーツ大会 (南小校庭・体育館)		
11/23水	町駅伝大会	10/15土 16日	下市田区文化まつり ↓ (下市田公民館)	9/18日	5区常会対抗スポーツ大会 (南小校庭・体育館)		
64年 2/19日	区スポーツ大会 (町民体育館)	10/16日	下市田敬老会 (下市田公民館)	10/23日	2区区民ミニバレー大会 (2区広場)		
3/12日	町卓球大会 (町民体育館)	11/19土 ~20日 64年 2/18土	町文化祭 (町公民館) 地元町議懇談会 (下市田公民館)	10/30日	1区運動会 (南小校庭・町民体育館)		
				11/ 3木	3区運動会 (下市田保育園)		

明



教養部の

年度計画について

教養部長 木村隆雄



昨年町政三十周年芸能祭には各区より昔乍らの芸能披露があり、懐しい伝統の催しを拝見でき、現代の世知辛い世の中に潤いを注いでくれた。下市田区も伝統芸能の後継者が少なく悩みの種はどこの区も同じ世となっている。忙中閑ありと心のゆとりを持って若い世代の方々の御協力をお願いすること大であります。又神社に對しまして同じであります、限られた敬神者でなく広く一般の氏子として敬神の念をより強く持

日頃は教養部の行事に御協力を頂き厚く御礼申し上げます。教養部は各部落より選出された十二名の部員で構成されています。

年度始めに一年間の行事予定を報告させていただきます。

来る限り御奉仕の時間を短縮して一層賑やかな祭典ができますよう心掛ける所存であります故宜敷く御協力の程をお願い致します。

部の紹介とお願い

つつある時代となってきましたが教養部の行事は下市田区の各団体、区民の皆様の御協力を得まして進めてまいるわけですので一年間の御協力をお願い申し上げます。又高齢者から子供さんまで参加していただき、一時を楽しんでいただくよう教養部員努力してまいります。御希望、御意見が有りましたら部落長さんか地元の教養部員までお知らせくださるようお願い申し上げます次第です。

新刊が入っています
下市田図書館の活用を

図書部長 林 豊

間。なお八月は十日の日に
下市田図書館（旧下市田保
育園）にて貸出しをおこな
うておりますので区民の皆
様の御利用を是非お待ちし
ております。

なお長年に亘り未返還の
図書も有りますのでその様
な図書は大至急御返還下さ
い。

又、八月頃新刊図書約六
十冊の購入も予定しており
ますので御希望の本が有り
ましたら近くの図書部員ま
でお知らせ下さい。

**体育部事業の反省と
六十二年度に思う**

体育部長 上沼俊彦

A black and white portrait of a middle-aged man with dark hair, wearing a dark suit, white shirt, and a striped tie. He is looking directly at the camera with a neutral expression. The background is a textured, mottled grey.

の皆様方も本当に大変な年で有ったと思います。

昨年度を振り返って見て思う事は、一部では体育部の事業は特定の人達だけで行っていると言う方も居りますが、体育事業は区民の皆様方のコミュニティ活動としては欠く事の出来ない公民館活動だと思います。

昨年度を振り返って反省の上に立ち、六十三年度は体育の事業も今迄通りとマンネリ化せず大きく変え新しい心息として区民の皆様方の御協力と大勢の皆様方の参加をいただける様に事業の計画を考え取組みたいと思つて居りますので、大勢の区民の皆様方の参加と御協力を願ひ体育部事業を進めてまいりたいと思ひますので宜敷くお願い申し上げます。

視聴覚部の
活動について

動行事は、萩の里まつり・カラオケ大会の二つが大きなものです。萩の里まつりでは主に裏方と云われる会場準備と放送に活躍しました。昨年度の反省点から照明等に多くの改善が見られる祭りのムードを盛り上げる裸電球による照明、トイレ方面への照明設置と、昨年とは比較にならないほど明るい会場作りができました放送についてはまだ改善する所がありますが、一回一回の体験により、よりよいものにしたと思います。カラオケ大会は年々盛大な大会が出来、関係団体・部落長さんの協力に深く感謝いたします。昨年は五回記念大会にふさわしく、内容の充実した大会で、参加者も最高となりました。

六十三年度の活動では、前年の活動、萩の里まつりカラオケ大会のより一層の良いものにして行けるよう

幸い此の春（別掲）のよう
に特別心配して下さった
「にわか衣裳」が豪華に更
新され、又昔乍らの懐しい
ホウズキ灯提が百余灯寄進
され、一段と賑々しく奉納
されたことを神社の使い役
を預かる総代共々御礼申し
上げる次第であります。
尚祭事毎に御奉仕下さる

九月二十五 カラオケ大会
十月十五日・十六日 文化まつり
十月十六日 敬老会
六十四年二月中旬
地元町議との懇談会
以上の行事を視聴覚部とともに計画致しております
生活様式も多様化され人の集まる機会も少なくなり

新年度に当り、図書部の
予定を報告いたします。

毎月十五日十月～四月ま
では七時三十分より一時間
五月～九月は八時より一時

御協力により大会が盛大に出来ました事に對し感謝申し上げます。又昨年度は町制三十周年と言う中で町民大運動会も開催され、部落

六十二年度視聴覚部の活動はコミュニケーションに重点をおいた活動になりました。教養部との共同での活

利用下さい。又、皆さんの御意見、御希望をどしどし寄せて下さる事を希望いたします。

下市田の区、常会について (六)

田戸純市

六 区

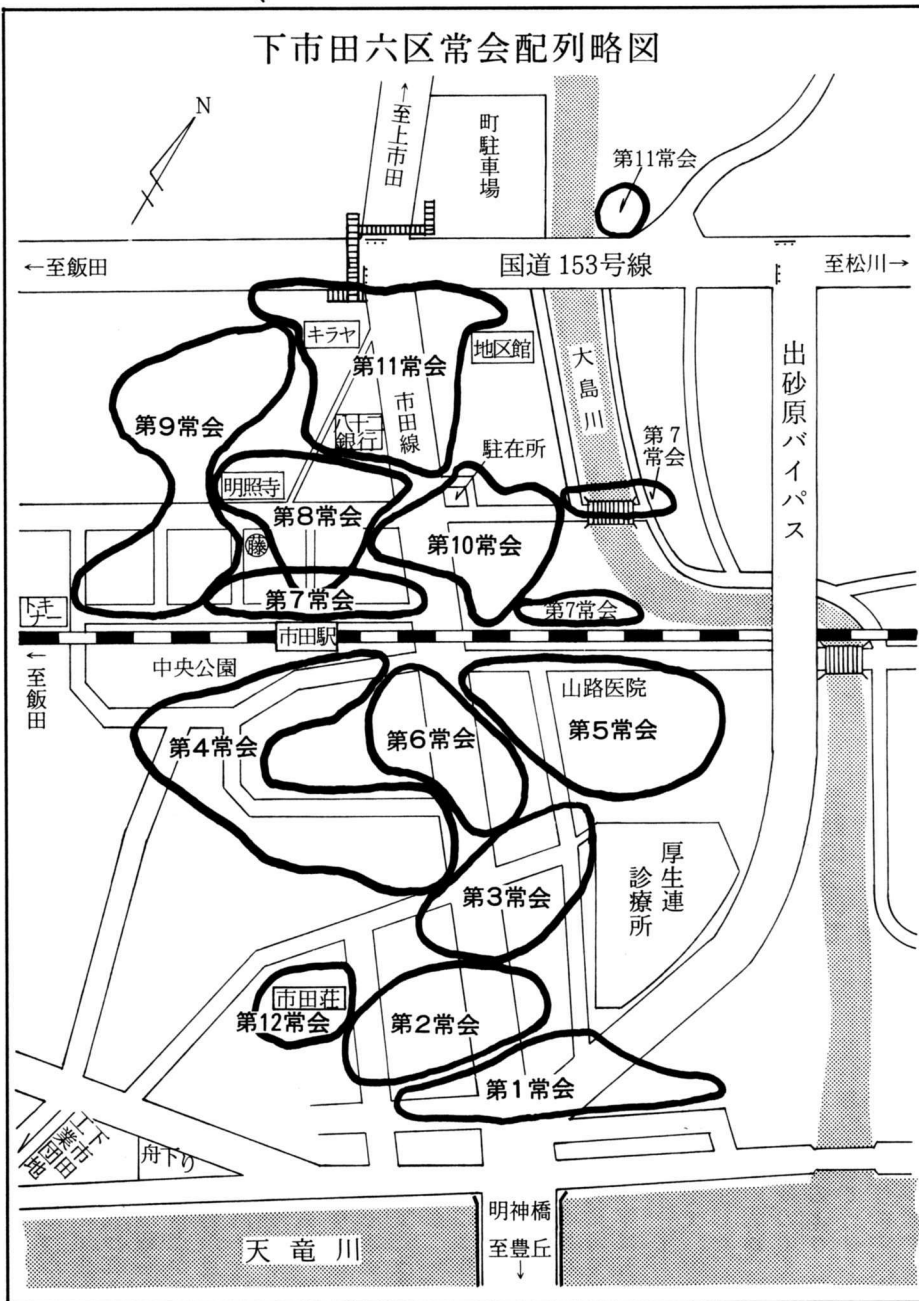
六区は出砂原地区のこと
で、大島川を挟んで吉田に
に接し(尤も元天竜社の南
から山路医院の辺に通じて
川寄りには吉田地籍である)
北は国道一五三号線を境に
一、西は二区と隣合、南
は天竜川に至って豊丘村と
対し、主として商工業を中
心とした集落である。元は
二区の内であったが、戦後
三十年代初めに、産業、経済
交通の急激な変遷で特殊な
地域として発展したのを契
機に、六区として独立した。
もともと明神の舟渡があり、
明治四十二年に吊橋が架け
られ、大正十二年三月、伊
那電気鉄道が開通になり、
市田駅が設けられ、交通、運
輸の大革新がもたらされた。
昭和七年に県営工事で現在
の鉄橋に架け替えられて、
竜東、竜西を結ぶ交通、文化
生活上の要衝として、益々
重要地域となった。

経済の中心も自ずから出
砂原に移り、銀行、郵便局、
警察官駐在所が設立され、
一九〇戸である。

タクシー会社、旅館、料亭
なども出来た。劇場、百貨
店などあって、戦前は盛況
を極めた時代もあった。し
かし乍ら三十六年の
災害以後、急激な自
動車(特にトラック)
の増加により、運輸
関係に一大変革が起
きると同時に、街の
様貌も一変、吉田河
原の国道端へ移転す
る工場、商店が続出
して、昔日の面影を
失い、一時盛況だった
天竜舟下りも色褪せ
て、利用客も減って
淋しい。

そうした中で、い
ま部落会あげて活性
化の為に種々施策を
講じられている。ま
た毎年催される打上
げ花火、灯籠流しは、
夏の風物詩として県
下に名を馳せ活況を
呈して、益々盛んで
ある。

下市田六区常会配列略図



63年度お祭りについて (四月三日 実施)
萩山神社春祭り獅子舞で獅子曳きを担
当される方々は次のみなさんです。

- | | | |
|--------|-----|----------|
| 松王・上 | 沼俊 | 亮(小五年) |
| 梅王・仲 | 平知 | 父・昇(小五年) |
| 桜丸・佐々木 | 三勝 | 父・隆(小六年) |
| 五区 | 父・章 | |

訂正

区報十一号「町制三十周年記
念民俗芸能祭詠進歌」
七、田戸純市さんの短歌を、次
のとおりお詫びして訂正します。
「町生れて三十の歳壽きつ
稚児の曳く手に
獅子は練り舞ふ」

下市田工業団地シリーズ

①

地域社会と共にあゆむ

旭松食品株式会社高森工場

工場長 下田 明



事業内容

ヶ所(東京・大阪)

営業所八ヶ所

凍豆腐、即席味

噌汁、納豆、味

付け油揚げなど

のチルド食品、

および食品素材

(大豆加工食品)

等、食料品製造

販売

売上高 九十四億円

高森工場はチルド事業拡

充のため、S 61・10・15本

格操業に入り、〃なつとう

いち〃は順調に操業が行わ

れています。

―経営理念―

「品質第一」

「参画経営」

「自主挑戦」

社員の自主性を尊重し、

ひとりひとりが意欲と責任

をもって、経営目標達成に

努め、よりよい食品を提供

することに依って、社会に

貢献できるよう全員の努力

を傾注しています。

当町の「生活環境整備」

と「緑と福祉と文化の町づ

くり」をシンボルに、農工

商が一体となって、町づく

りを目指しておられ、それ

にこえるべく、企業努力は

当然であり、地域社会の発

展に寄与できれば幸甚であ

地域社会との共存共栄をめざす

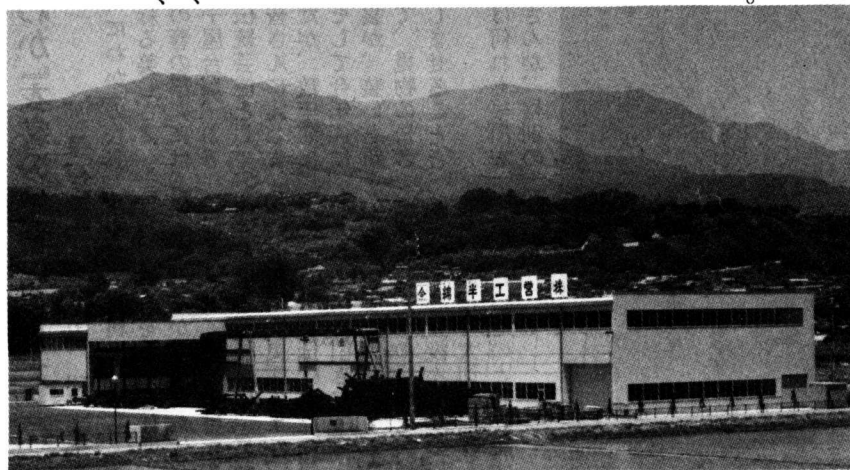
綿半工営株式会社飯田工場

私どもの会社は建築構造物の鉄骨工事を主業務としており、最近の主な施工工事には飯田美術博物館や蘇南高校・豊丘北小学校の鉄骨工事があり、伊那谷における最大規模の工場として大型物件の鉄骨工事には全んどいってよい程各工事に関係させて頂いております。旧松尾の工場が業容の拡大に伴い狭隘となったことから、吉川町長様を始めとすご関係各位のお力添えを頂き、下市田工業団地への移転進出を果すことが叶いまして、昨年四月に新工場が竣工いたしました。工場規模は約一万平方メートルの敷地に、工場棟と事務所、現寸場の三棟から成っております。鉄骨工事は建物の骨格をなす重要な部分であり技術高度化時代にマッチした最新鋭の機械設備が、穴明け、切断、溶接、塗装の各部署に設置され、効率的な製作管理を行っています。少々専門的になりますが、設計図からの加工過程に欠かすことの出来ない現寸管

綿半建材工業、綿半緑化の各関係会社と共に、企業グループの経営理念である「地域社会へのより良き貢献」を一層実践すべく、現業を通じて役職員一同努力してまいる所存であります。この誌面をお借りして今後とものご支援を心からお願ひ申し上げます。

×××

理に、日本IBM社のCADシステムを導入し、又超音波により溶接欠陥を発見する精度の濃い製品管理にも努めています。又現場迄の運搬や組立中の作業災害ゼロを目指し、無事故更新中です。私どもの会社は、創業以来三九〇年の歴史をもつ、綿半鋼機(株)を母体とする「綿半野原企業グループ」の一員であります。飯田地域に所在する綿半リビン、グストアイ、綿半電気館、綿半ホーム、エイド、綿半レンタルショップ、



天竜川沿岸の肥沃な土地に、敷地面積二十ヘクタールの面積を有し、中央に十米幅員の道路を挟み、十六の企業で形成された、下市田工業団地は、他に類を見ない、雄大な工業団地が完成しつつある。これは偏に行政機関が、企業誘致の積極的な取組みと、工業団地としての将来の展望に立ち、地域社会の方々の深い理解の賜と感謝申し上げます。

創業 立 S 25・12・19
―当社のおいち―
従業員数 約六百名
事業所 本社、食品研究所、五工場(天竜第一、第二、飯田、伊那、高森各工場)
営業関係支店二

史跡めぐりシリーズ (12)

宝勝水

福島 光三郎

下市田の古瀬地籍にあり角田原の段丘の下谷あい萩山神社の北方に当る谷のどんぜりに、清冽な清水が湧き出ている所がある。

萩山神社より下段一帯の安養寺附近は、良質な飲料水がなかったで、これを水源とする簡易水道仲間が昔から出来ていた。

室町時代に、当地の領主であった松岡氏がこの清水を宝勝水と名づけ、代々の領主は、安養寺の茶室で茶会を催したと語り伝えられて居り、江戸時代になっても飯田城主の堀候は、安養寺の庭にあった丈六の桜の



至っていた。この間、藤屋、伊奈川治助、加山清八、小川米太郎らの家々

が飲料水として使用して居た。

昔のことであり、水道管は丸竹を用い継手は松材を枕として延長は三百米あまりのものであった。

その保守・管理は大変なものであり、年々の手入れと五、六年毎の大改修には多大な資金、資材、労力を要した。

この水道の維持に当たっては、安養寺が中心となつて神社、学校、各戸が水道仲間として、協力しあつて長い間、ゆいし、ある宝勝水を守りつづけた。

この浄水がいつまでも枯れず、汚染されることのない様にと云ういのりをこめて、法華塔が建立されたのは、いまより百六十年前の文政十一年の四月のことである。安養寺の法華和尚の代であった。

この塔の建てられた場所は、中村耕地の共有地である古瀬地籍の九八六番地で、雑木にかこまれて居る場所である。

この碑のあった奥に山の神が祀られ例祭はその都度同一の日に行われて来ている。

近年に至つて五年ほど前に法華塔を安養寺の北裏へ

造られた石庭の高処へ移された。

この塔の高さは一米四センチ、横幅一米あり大きな台石の上に安置されている。正面に彫の深い大文字で法華塔とあり、右側に八大竜神、左側に護法善神、更にその外面側に竜が浮彫りとなっている。

碑の石質も良く、立派な塔である。

現在、この碑のあるところは、寺の境内の奥にあり、以前の場所と異り自由にお参りしにくい環境にある。

この碑は宝勝水の守護のため建てられた塔であり、この碑には、関係者の共有の観念が土着しているものである。

建立して以来、百六十年中村耕地の一區画の林の中に安置されて居たのであるから、このさい原状への復帰が好ましいものと思われる。

高山に美しく咲く、しゃくなげを庭に移し植えても育たないし、風越山のまんさくの紅葉がよいと庭に植えても美しい紅葉をせぬ様に。

『野におけれんげ草』と云うものではないだろうか。

『にわか』衣裳の更新に寄せて

保存会長 上沼利造

絢爛たる「にわか」の衣裳 伝統芸能を彩る美しさ、萩山神社の春の祭典には、獅子舞や囃子屋台が、ふるさとの長い伝統芸能として、氏子区民の皆さんに親しまれてきました。が、数年前に獅子曳の、そして今年「にわか」の衣裳が、装いも新たに登場して、見物の皆さんの眼を驚かせることと

思います。

このことは何れも早川衣裳早川義市さんが、格別の

ご配慮で材料を心配して下さい、それを日赤奉仕団役員の方々が、何日も仕立奉仕をされて縫い上げたもので、今年五種類の「にわか」の衣裳の更新により、正に面目一新伝統芸能の美しさを一段と引き立てるものと思います。

輝かしい伝統の行事と共に、特志家の心を汲んでこの衣裳も、末長く大切に保存して行きたいものと思います。



随想

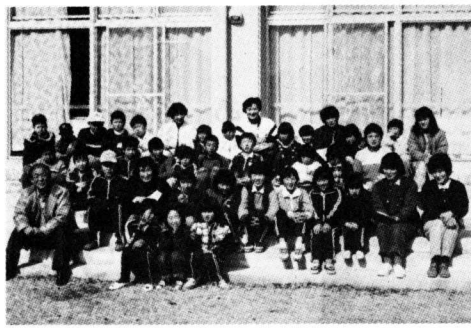
「近所の友だちと共に」
宿泊研修を終えて

四区育成会 林 昭 治

去る二月十三日町の教育

委員会・学校・部落・父兄
その他多くの皆様の御協力
により、四区育成会の事業
として宿泊研修が出来まし
た。阿南少年の家の先生方
には心から優しく、時には
厳しく、親切に御指導下さ
れ心からお礼を申し上げます。

参加者二十九名、付添者
六名、育成会役員三名
テーマ「近所の友だちと共
に仲間との共同生活の体験
目的」共同生活を体験させ
ることにより社会生活のル
ールや、きまりのよい生活



生活、保健の係を分担。
高学年の子供が優しく指
導する。それに従い協力
する低学年のいじらしさ。
それがいじめの無い本来
の教育の姿ではないかと
思う。活動としては夜の
キャンドルのつどい、水
引き工芸、マレットゴル
フ、室内ゲーム。来た時
よりも美しく整理整頓、
皆で一生懸命頑張った。
早稲田から温田までバス、
各人に渡されたお金を下

車時バスの料金箱に入れた。
温田駅の出札口に小さい手
でお金を出し元善光寺まで
子供一人、初体験である。
キップを持って改札口よ

日赤第二分団のお仕事の一部を

藤 松 定 子 (五区)

「皇居のお掃除にゆけば
皇居内が見学出来る」とい
う甘い考えで日赤奉仕団に
入れて頂いたのが何年前の
事だったでしょうか。今考
えてみますと冷汗の出る思
いです。白いエプロンをか
けて吹上御所のお庭迄もお
掃除させて頂き、両陛下を
仰いで感激して帰ったもの
でした。その後先輩の方々
にいろいろ教えて頂いて奉
仕団の内容が順々に分って
まいり、その大切さを感じる
ようになりました。奉仕団
の目的は団員の労力、能力
時間を社会の為に奉仕する
ことであり、又社会福祉増
進の為身近な所からお手伝
いし、政治や宗教には中立
の立場をとるという原則に
もとづいて行動しております。
本団のお仕事は委員長
さんよりの伝達によって進
めてまいりますので、ここ
では私共分団の事業の一部
を記させて頂きます。

りホームに歩く姿に喜びと
満足感が漂っていた。
来年は全員が参加する様
にしようという約束して散会し
た。

新刊図書紹介

六十二年九月購入分

- 。死への準備 千葉敦子 朝日新聞社
- 。ブツダ第2・3巻 手塚治虫 潮出版社
- 。塀の中のプレイボール 安部 謙二 講談社
- 。こんな女に二度と会いたくない 鈴木健二 三笠
- 。ラブリズ・オンリー 山田 詠美 角川書店
- 。サラダ記念日 依 万智 河出書房新社
- 。女の人生度胸しだい 広瀬久美子 リヨン社
- 。姑はつらいよ 西川 勢津子 P H P
- 。鍋 の 中 村田喜代子 文芸春秋社

参拝に始まり、お祭りの関
係の方に召し上がって頂く
おにぎりを作らせて頂きま
す。班長さん方一丸となっ
て作るおにぎりをお祭りの
方々に召し上がって頂く事
は何か手の暖かみを通じる
思いで、皆一生懸命でござ
います。本団でも九月一日
の防災訓練の折には消防の
方々の為にたくさんのおに
ぎりを作らせて頂きますが、
お祭りの時で馴れて居りま
すので手際がよいと自賞自
讃しております。尚今年は

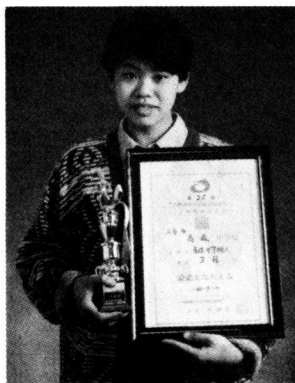
お祭りに用います俄の衣裳
を作らせて頂き、よい記念
になると、皆様苦勞はしま
した感慨深いものがありま
した。
奉仕団の内容のほんの一
部しか紹介出来ませんでし
たが、福祉の関係や防災、
又救急看護の方法など、そ
の仕事の本来に大切なこと
をしみじみ感じ、先輩の皆
様から伝えられました事が
末永く引きつがれてゆかれ
ますよう念じております。
×××

- 。わが恋う人は 遠藤周作 講談社
- 。乳ガンなんかには敗けられな 千葉敦子 文芸春秋
- 。武田信玄(上)・(下) 土橋治重 三笠書房
- 。チョッちゃんが行くわよ 黒柳 朝 主婦と生活
- 。夕やけこやけでまだ日は 暮れぬ 佐藤愛子
- 。ひかり62号の殺意 西村京太郎 新潮社
- 。ビジネスマン父より息子 へ30通の手紙 城山三郎
- 。母の言いぶん 高森和子 鎌倉書房
- 。朱夏の女たち(上)・(下) 五木寛之 文化出版局
- 。ふたりで探偵 平岩弓枝 新潮社
- 。別れぬ理由 渡辺淳一 新潮社
- 。忘我の記 中里恒子 文芸春秋
- 。花咲いて花散って今 木村 梢 文化出版局
- 。雪 舞 い 芝木好子 新潮社
- 。黒い森の記憶 赤川次郎 角川文庫
- 。悪妻に捧げるレクイエム 赤川次郎 角川文庫
- 。幻の四重奏 赤川次郎 角川文庫
- 。泥棒物語 赤川次郎 角川文庫
- 。たとへば風が 赤川次郎 角川文庫
- 。早春物語 赤川次郎 角川文庫
- 。プロ野球夢球場 江本孟紀 サンケイ
- 。白い雨 赤川次郎 光文社文庫

中学生の作文

あの一 本

中三 三 島 香 (一区)



と一試合勝てるようになりまし。それから毎日毎晩練習を欠かしたことがありまし。今日「今日は練習いやだな」とか「こんなに苦しいのなら卓球やめようかな」と何度となく思いました。でも、帯刀先生や、両親にはげまされ頑張りました。そしてど

昨年一年間私がかかる卓球への情熱は、前年以上に強いものでした。私は、前年の新人戦から選手として国体戦・個人戦に出場させてもらえました。しかしあまり目ざましい活躍はできませんでした。そして冬の間、部活へは二〇〇多出席し、家ではサーブ練習、体力作りと、毎日一生懸命練習にはげみ、朝起きて夜ねるまで、本当に卓球のことしか考えていませんでした。岡本・塩沢両先輩に、最初は五本、そして十本、十三本、十五本、二十本……二月・三月にかけて、やっ

う間に中体連地区大会当日が来てしまいました。団体戦では、北信越大会で優勝した鎮西ひろみさんに一セットとり、十八本と、十三本とって負けましたが、ここで一セットとったことにより、はやくも冬の間の練習の成果が表れました。個人戦では、一試合、二試合と、どんどん勝ち進んで行きました。いつの間にか、Best eight.に入っていました。こゝで勝つてBest four.

しかし相手は、一年上上のもとも強い人で新人戦でもBest Four.に入ったので、もう半分以上あきらめかけていました。二セット目まで、二一でいい勝負でいきま。三セット目、十七一十で、七点差がありました。最後のふんばりで十点連取して、十七一二十となり、逆点しました。ラスト一本ういてきた。スマッシュノ入った。三位入賞でした。南信大会でも三位に入りました。そして、県大会進出という出場権を得るこ

とができました。あそこまで行けたのも、力を入れて教えてくれた帯刀先生と、応援してくれた両親、そして一生懸命球拾いしてくれた部員みなさんのおかげです。しかし地区大会で勝ちを決めたあの一本。一生懸命、苦しい練習にたえてきた私だけにしか、あの時の気持ちは分からないでしょう。再び、そのよるこびを味わいたくて、私は、今「卓球の道」を進んでいるんです。

※※

ね ず み

小四 倉 沢 信 義 (二区)



ぜんまいねずみ



夜、お父さんとぼくと、おねえさんとで、ねずみ取りを見に行きました。ふくろとねずみ取りと、つかむ物を持って行きました。そうして、見てみたら、ねずみがひとつにまっ

ていました。どくを飲んで、苦しくて弱っていました。「助けて」と言ってるみたいでした。ぼくとおねえさんが、「かわいそう」と言ったら、お

。盲目のピアニスト
内田康夫 中央公論社
。うんちがぼとん
さくま ゆみこ
。ノントンおよぐのだいすき
おおもやすみ・さちこ

。伊達政宗
樋口清之 学研
。日本昔ばなし100話
川内彩友美 講談社
。こんなこいるかな
有賀 忍 講談社
。いろとかたちのえはん
ぼくは、しょうがないと思いました。
次の日死んでいました。

あ い さ つ

小六 古 瀬 友 美 (六区)

わたしは、毎朝学校へいくと中、いろいろな人に会います。わたしが、「おはようございます」と、あいさつすると、「おはよう」と、あいさつを返してくれます。それは、気持ちのいい事です。

でも、わたしはあいさつをする人、しない人を分けてしましました。「あのおじさんは、あいさつするとニコニコして返してくれるから言おう」「あのおじさんは言っても急いでいるから、あまり言ってくれないので、言わないでいよう」と、言うように二つに分けてしまのです。そういうことは、悪いとは自分でも思っているけど、どうして



編集後記

時の過ぎるのは速いもので区報も十二号となりました。みなさんのご協力ですます有益な区報となりますようお願いします。